



# Earth Rise

No. 9

平成 26 年 6 月 17 日(火) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D 等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



## 県下一斉 「あちこち岡山」 で 矢掛高校ユネスコ国際交流プログラム放送

岡山県ケーブルテレビネットワーク共同制作の「あちこち岡山」で、本校3年河上滉一さんが紹介されました。ユネスコ協会「E S D 作文コンテスト」で入選した河上さんが、副賞として参加した「ドイツ・フランス研修」についての報告会の様子を中心に、彼が取り組んでいる川面幼稚園での「やかげ学」の活動などを5分間にまとめてくれています。



本校の取り組んでいるE S Dについての確にまとめられているので脱帽です。E S Dを地域に広めるのには、まづもって地域メディアが積極的に広報啓発していただくことが大切です。矢掛放送との連携協働は大変順調です。

高校生がボランティアやまちの仕事のお手伝いを通じて、いかに地域を支えることができるのかを作文に書いた河上さんは、ドイツやフランスの高校生達との交流の中で、世界の高校生達が行っている地域貢献について貴重な勉強をしてきたそうです。すごいのは、本校で取り組んでいる「やかげ学」を中心にパリのユネスコ本部でプレゼンテーションしてきたということです。もちろん英語で。ビデオでみても的確な発音には感激です。そして、その成果は、研修報告会を通して矢掛高校全体で共有することができました。

「かわかみこういち」彼は校長と同姓同名なのです。(漢字は違いますが) 彼の卒業証書は、中学校も高校も、上も下も「かわかみこういち」。中学校時代から知っている私にとって、サッカー小僧の大きな成長に感無量です。ユネスコ本部でのプレゼンテーション、研修報告会でも、河上さんは次のようにまとめて締めくくっています。

「やかげ学を通じ、持続発展可能な社会のためにできること……。こどもたちと触れあい関わり続けていくこと。その園児が『大きくなったら、河上先生のようにになりたい』と考えてくれること。私の夢は園児たちが大きくなって矢掛高校に入学し、やかげ学の活動をしてくれることです。それが持続発展の一步になると考えています。私たちは未来に自分たちの考えを受け渡す必要がある。それが私たちの考えるE S Dです。」

(原スピーチは英語)

4th ESD International Exchange Program  
～第4回ESD国際交流プログラム～

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization  
UNESCO Associated Schools

Koichi Kawakami

UNESCO本部にて...

発表内容  
環境の授業・地域連携・やかげ学

スケジュール

東京	3月23日	成田出発
ドイツ(ハイデルベルク)	3月24日	ドイツのユネスコスクール(IG)訪問 市内観光
フランス(パリ)	3月26日	フランスのユネスコスクール(ISC)訪問
	3月27日	UNESCO日本政府代表部 大使 表敬訪問 三菱東京UFJ銀行パリ支店職場見学 UNESCO本部
	3月28日	世界遺産見学
	3月29日	帰国

昨日来校された、東京・文化放送の方もこのビデオを見てびっくりされていました。